

旧日本煉瓦製造株式会社関係資料（有形文化財・歴史資料）について

- ・2月22日、県教育委員会は県文化財保護審議会から答申を受け、同22日、県指定文化財に「旧日本煉瓦製造株式会社関連資料」1,459点(有形文化財・歴史資料)など5件を新規指定し、秩父市内で生育する「久那のステゴビル」(天然記念物)を追加指定しました。これにより県指定文化財は721件になりました。
- ・「旧日本煉瓦製造株式会社関連資料」は、明治20年(1887)に渋沢栄一や益田孝らによって創設され、平成19年(2007)に解散した日本煉瓦製造株式会社(以下、日本煉瓦)に関係する資料群です。
- ・県立文書館に1,324点、日本煉瓦製造株式会社旧煉瓦製造施設(旧事務所)に1,568点が分蔵され、その年代は明治時代から会社解散期の近年にまで及びます。そのうち、高度経済成長が始まる前の昭和29年(1954)までの資料1,459点が指定の対象となっています。
- ・本資料群は会計書類・図面・営業報告等が大部分を占め、会社経営関係、煉瓦焼成窯関係、書状、写真などに分類されます。近代建築史に関連するのみならず、近代経済史の観点からも重要な資料群となっています。

